

炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー
給湯湯沸設備・乾燥設備・サウナ設備
ヒートポンプ冷暖房機
火花を生ずる設備・放電加工機
燃料電池発電設備

設置届出書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

長岡市消防長 様

届出者

住所 長岡市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

株式会社 〇〇〇〇〇 (電話 番)

氏名 代表取締役 〇〇〇〇

防火対象物	所在地	長岡市〇〇町〇〇丁目〇〇番			電話	番
	名称	株式会社 〇〇〇〇〇		主要用途	事務所	
設置場所	用途	ボイラー室	床面積	〇〇. 〇〇m ²	消防用設備等又は特殊消防用設備等の概要	第5種消火設備 (粉末ABC消火器)
	構造	〇〇造	階層	屋内(〇階部分) 屋外		
	不燃区画	有・無	換気設備	有・無		
届出設備	着工(予定)年月日	令和〇年〇月〇日		しゅん工(予定)年月日	令和〇年〇月〇日	
	設備の概要	社屋内の暖房及び給湯用ボイラー				
		種別	電圧 V		全出力 kW	
		キュービタム式(屋内・屋外)・その他				
	使用する燃料・熱源・加工液	種類	灯油		使用量	
				100 × 8h × 0.4 (稼働率) = 320 /日		
安全装置	過熱防止装置、感震装置、異常燃焼防止装置					
取扱責任者(主任技術者)の職氏名	〇〇部〇〇課〇〇係 〇〇〇〇					
工事施工者	住所	〇〇設備工業株式会社			電話	番
	氏名	代表取締役 〇〇〇〇				
※ 受付欄				※ 経過欄		

備考

- 1 法人にあつては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
- 2 設備の概要欄に書き込めない事項は、別紙に記載して添付すること。
- 2 種別欄については、燃料電池発電設備の場合に記入すること。
- 4 使用する燃料・熱源・加工液欄については、燃料電池発電設備以外の場合に記入すること。
- 5 ※印の欄は、記入しないこと。
- 6 当該設備の設計図書等を添付すること。

[火を使用する設備等の設置届出書記載要領]

- 1 届出しようとする該当設備を○で囲むこと。
- 2 届出日は、届出書提出日を記入すること。
- 3 「届出者」は所有者とすること。
- 4 「防火対象物」欄は、設置する建築物の所在地及び名称を記入すること。
- 5 「設置場所」欄は、設置する場所の構造等について記入すること。

注意) 機器の熱量によって内壁等の仕上げが不燃材以上でなければならない場合があるので事前に確認すること。

（ 労働基準監督署への届出（ボイラー設置届け、小型ボイラー設置届け）に該当するものは、消防へ届出する必要はありません。
簡易ボイラーの場合、消防への届出が必要になります。 ）

- 6 「消防用設備等又は特殊消防用設備等の概要」欄は、火災が発生した場合に使用できる消火等のための設備を記入すること。
- 7 「届出設備」欄は、設備の概要等について記入すること。
この場合、備考4、5に注意すること。
備考5で、使用する燃料が油の場合は次のように記入すること。

（例）灯油の場合
種類：灯油
使用量：一日に消費する数量

- 8 「取扱責任者（主任技術者）の職氏名」欄は、設置設備の責任者について記入すること。
- 9 「工事施工者」欄は、設置工事を行う者について記入すること。

注意事項

設置場所の見取図及び設備の設計図書等を添付すること。

- 案内図
- 燃料使用量計算書
- 工場配置図
- 設置室平面配置図
- 設置室配管・電気系統図
- 設置室平面配管図（油、水などの識別必要）
- 設備に関するカタログを添付する。

届出書は2部作成すること。

検査後に1部お返しします。